記者発表資料

令和　3年　3月　9日
国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所

下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）の計画検討に関する意見聴取を実施します。
～みなさまのご意見をお聞かせください～

下北半島縦貫道路は、青森県の下北地域と上北地域を結ぶ地域高規格道路です。
その一部の区間となる「野辺地～七戸」間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするアンケート調査およびヒアリング調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

〇調査期間：令和3年3月10日（水）～令和3年5月5日（水）
〇調査内容：沿線地域住民や道路利用者等を対象に、国道4号（野辺地町～七戸町間）における対策案（ルート案）を検討していく上で、重視する項目について意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット（WEB）	青森河川国道事務所ホームページに掲載します。 http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/	令和3年3月10日（水）～5月5日（水）
返信用はがき	野辺地町、七戸町、東北町にお住まいの方には、全世帯に対し各自治体の広報紙に添付し配布します。 対象区間の利用が多く見込まれる青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町にお住まいの方には、無作為抽出した世帯に対し郵送にて配布します。	令和3年4月1日（木）～5月5日（水）
	国道4号（野辺地町～七戸町間）を利用する事業者へ郵送配布いたします。	
	各自治体の公共施設等に調査票と回収ボックスを設置します。（設置箇所は別紙参照による）	

ヒアリング調査について

〇対 象 期 間 ：令和3年3月10日（水）～令和3年5月5日（水）
〇対　　象 ：国道4号（野辺地町～七戸町間）の沿線地域及び広域的な利用が考えられる地域の自治体、団体、事業者
〇調 査 内 容 ：国道4号（野辺地町～七戸町間）における対策案（ルート案）を検討していく上で、重視する項目について意見を把握するために実施します。

※なお、新型コロナウィルス感染症対策として、対面での聞き取りはせず、調査票送付と電話聞き取りにより実施します。

【発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社】

【お問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
TEL　017-734-4521（代表）　FAX　017-722-8581
副　　所　　長　　小笠原（おがさわら）　清（きよし）　（内線　205）
調査第二課長　　葛西（かさい）　弘樹（ひろき）　（内線　451）

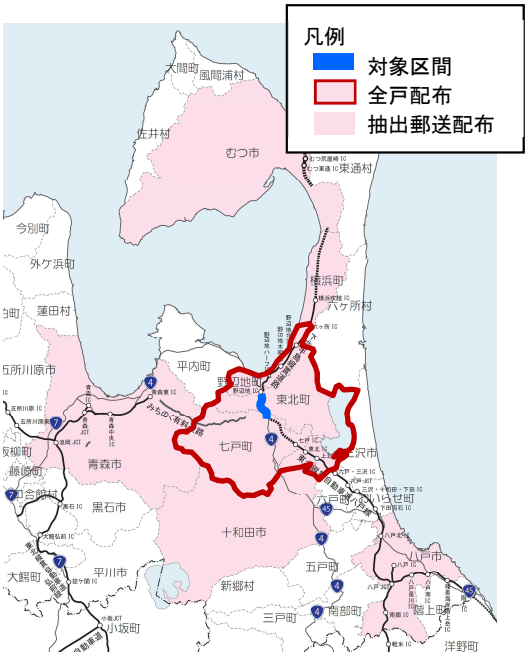
別　紙

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

（1）野辺地町、七戸町、東北町、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町にお住まいの方々

配布予定日：令和3年4月1日（木）以降順次配布

※野辺地町・七戸町・東北町には全世帯に配布、対象区間の利用が多い青森市・八戸市・十和田市・むつ市・横浜町には無作為抽出した世帯に配布します。



（2）国道4号（野辺地町～七戸町間）を利用する事業者

配布予定日：令和3年4月1日（木）以降順次配布

（3）（1）以外にお住まいの方

下表に示す青森河川国道事務所、青森県庁、各市役所・町役場・支所、道の駅等にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置いたします。

設置予定日：令和3年4月1日（木）～令和3年5月5日（水）

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケート回収方法

（1）返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポストに投函願います。また、下表に示す回収ボックスへの投函も可能です。

（2）インターネットによる回答

青森河川国道事務所、青森県庁、各市町のホームページ内にあるバナーからアクセスしていただき、回答していただくことが可能です。

パソコンまたは
スマートフォンから

「下北半島縦貫道路　アンケート」で検索し、アンケートページへアクセス、もしくは右 QR コードからアクセスができます。
また、青森河川国道事務所ホームページ内にある右バナーからアクセスできます。

（QR コードの商標は、（株）デンソーウェーブの登録商標です）

青森河川国道事務所ホームページ URL
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/



アンケート調査票・回収ボックス設置箇所

国土交通省	青森河川国道事務所 八戸国道出張所 十和田国道維持出張所	野辺地町	野辺地町役場、野辺地町中央公民館、 野辺地町立図書館、 野辺地町観光物産 PR センター	十和田市	十和田市役所、 十和田市東コミュニティセンター、 十和田市民図書館、 市民交流プラザ トワーレ
青森県	青森県庁、 上北地域県民局、 下北地域県民局、 東青地域県民局、 三八地域県民局	七戸町	七戸町役場、七戸町役場七戸庁舎、 七戸中央公民館、七戸中央図書館、 七戸町観光交流センター、 七戸十和田駅	むつ市	むつ市役所、 むつ市役所川内庁舎、 むつ市役所大畑庁舎、 むつ市役所脇野沢庁舎、 ウェルネスパーク、 むつ市中央公民館、 むつ市立図書館、 むつ来さまい館、 むつ下北観光物産館まさかりプラザ
道の駅	しちのへ、 おがわら湖、 浅虫温泉、 よこはま	東北町	東北町役場、東北町役場東北分庁舎、 東北町町立図書館、東北町中央公民館、東北町町民文化センター		
		青森市	青森市役所駅前庁舎 青森市民図書館		
		八戸市	八戸市役所、八戸市役所分庁舎 八戸市立図書館	横浜町	横浜町役場、横浜町ふれあいセンター

第１回アンケートでは下記の「地域や道路の課題」について、ご意見をいただきました。

課題１ 輸送ルートの機能強化

対象区間は、多様な農林水産品の輸送ルートです。
販路を拡大し、地域産業を支える高速道路ネットワークのさらなる拡充と強化が必要です。

〔ひらめ〕



〔野辺地葉つきこかぶ〕



課題２ 広域周遊観光の形成

七戸十和田駅は、下北半島や十和田湖などの周遊観光の拠点となっています。
新幹線駅から下北方面への観光はレンタカー利用が多く、広域周遊観光を形成する上で、高速道路ネットワークをつなげることが必要です。

〔尻屋崎灯台と寒立馬〕



課題３ 走行環境の改善

周辺の高速道路ネットワークの延伸により、対象区間では年々交通量が増加しています。

現在は走行速度が低く、交通事故も多発しており、幅員などの走行環境の改善が必要です。

〔冬期幅員減少状況〕



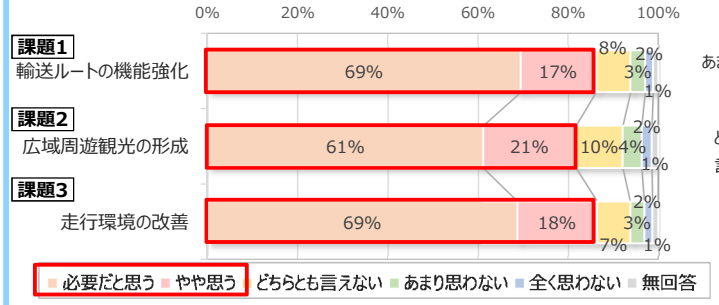
〔冬期事故状況〕



第１回アンケート結果　たくさんのご回答をいただき、ありがとうございました。

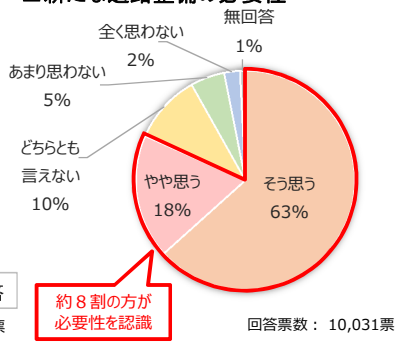
住民・道路利用者

■地域の課題に対する認識



回答票数：10,031票

■新たな道路整備の必要性

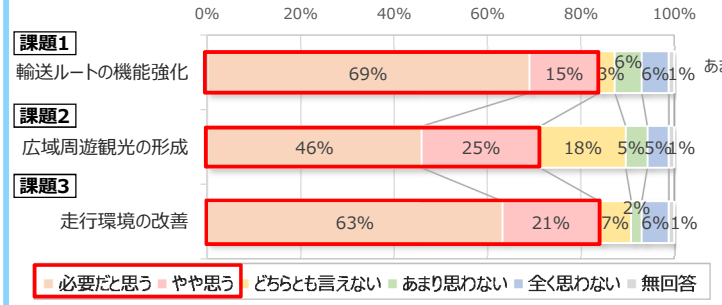


約８割の方が必要性を認識

回答票数： 10,031票

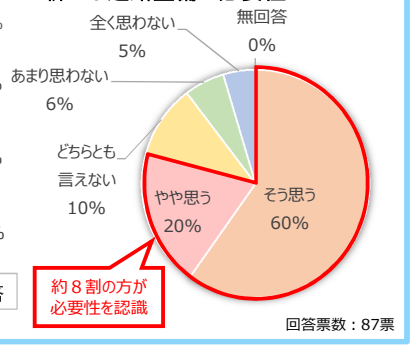
事業所

■地域の課題に対する認識



回答票数：87票

■新たな道路整備の必要性



約８割の方が必要性を認識

回答票数：87票

～ 今回のアンケートと道路計画の流れ ～

地域や道路交通の現状と課題の整理 → 済 第１回アンケート → 政策目標の設定 対応方針案の検討 → 今回 第２回アンケート → 対応方針の決定

●アンケートに関するお問い合わせ先（平日 9:00～17:00）
青森河川国道事務所　調査第二課　　TEL　017-734-4570　FAX　017-722-2384

下北半島縦貫道路（野辺地町～七戸町間）の道路計画に関するご意見をお聞かせ下さい！！









全５問
5分程度で
回答できます

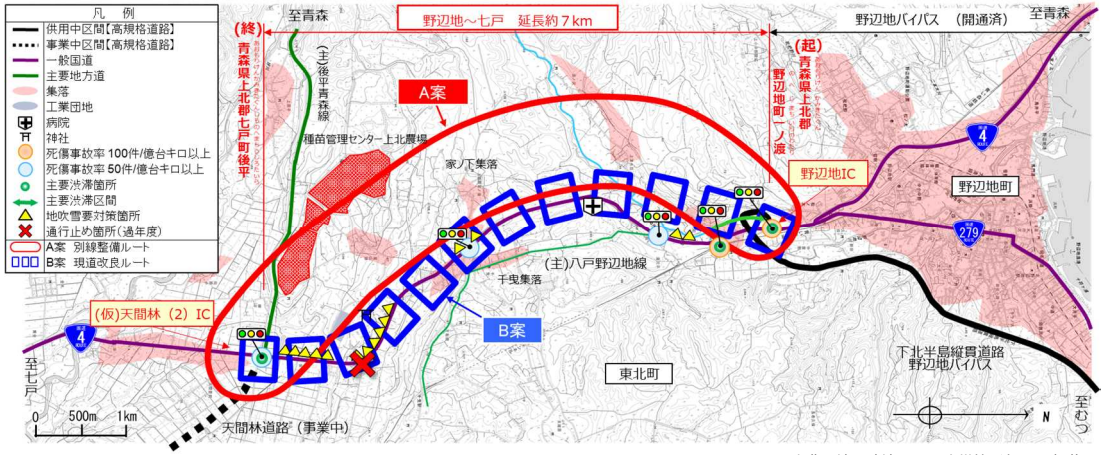
《インターネットでも回答できます》

インターネットで回答する場合は“下北半島縦貫道路アンケート”で検索し
アンケートページへアクセス、もしくは右のQRコードや
“青森河川国道事務所”で検索し、右バナーからアクセスしてください。
（QRコードの商標は、(株)デンソーウェーブの登録商標です）

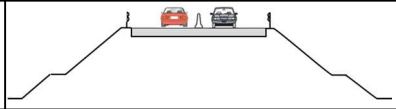
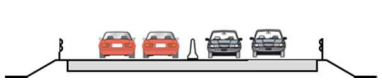
下北半島縦貫道路（野辺地町～七戸町間）ご意見募集中　令和3年 5/5（水）まで

1 以下の内容をご確認いただき、別紙アンケート調査票へのご回答をお願いいたします。

【A案】別線整備ルート：　全線を別線で整備し、現道課題の解消を図る案
【B案】現道改良ルート：　現道の4車線への拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案



出典：地理院地図にルート帯等を追記して掲載

比較項目			【A案】別線整備ルート	【B案】現道改良ルート
断面図(イメージ)				
設計速度			80km/h	60km/h
政策目標	産業・物流	安定した物流を支えるルートの確保	全線が別線で整備されることにより、災害・事故による通行止め時に代替機能が確保される	4車線整備により、通行止めリスクが低減するが、代替機能は確保されない
	観光	広域観光を支えるルートの確保	別線を整備することにより沿道の出入り交通や信号交差点を回避するため速達性が優れる	現道改良のため、沿道の出入り交通や信号交差点が残り、A案より速達性が劣る
	交通	道路走行環境の改善	別線整備により、死傷事故率が高い箇所を全て回避し、事故リスクが大幅に低減する	上り、下りを分離することにより、正面衝突事故等の事故リスクが大幅に低減するが、信号交差点が残るため、A案より走行環境に劣る
配慮すべき事項	生活環境	沿道家屋への影響	現道の交通が減少するため、生活環境が改善される	現道改良区間で集落等を通過するため、沿道家屋等への影響は改善しない
	沿道環境	沿道出入への影響	出入箇所が起終点に限られるため、集落から本線へのアクセス性は劣る	沿道集落から本線へのアクセス性に優れる
	自然環境	自然環境への影響	全線バイパス区間となるため、山林地帯の改変が大きくなる	現道改良となるため、山林地帯の改変は生じない
	工事の影響	現道交通への影響	現道の工事は、接続部のみであるため施工時の現道交通への影響はほとんどない	施工時に比較的長い区間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい
	コスト	整備に関する費用※	２８０～３１０億円	２５０～２８０億円

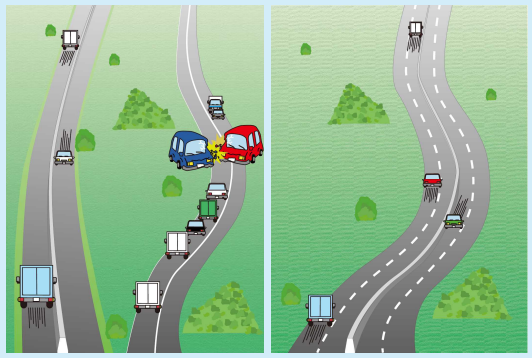
※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

2 ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の8項目を考えています。

【政策目標】

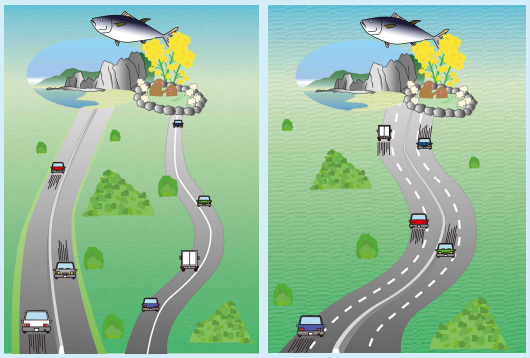
①安定した物流を支えるルートの確保

【A案】別線整備ルート　【B案】現道改良ルート



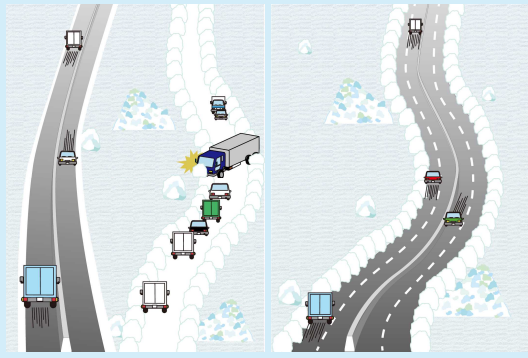
②広域観光を支えるルートの確保

【A案】別線整備ルート　【B案】現道改良ルート



③道路走行環境の改善

【A案】別線整備ルート　【B案】現道改良ルート



【道路整備による影響】

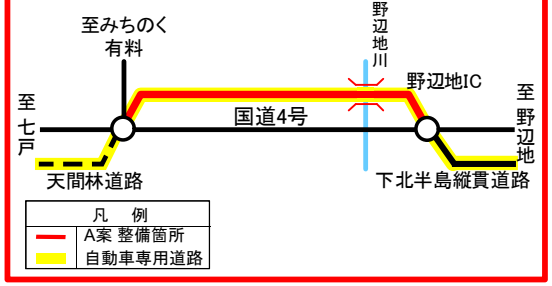
④沿道家屋への影響が少ないこと
⑤沿道沿線住民への影響が少ないこと
⑥自然環境への影響が少ないこと
⑦工事に伴う規制の影響が少ないこと
⑧整備にかかる費用が安いこと

※イラストはイメージです。
詳細については、左記の比較表を参照下さい。

3 政策目標を達成するためのルート帯として、以下の2案を立案しました。

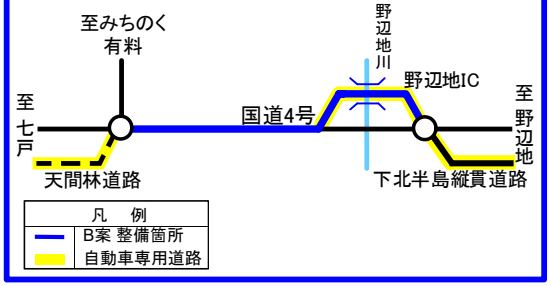
【A案】別線整備ルート

全線を別線で整備し、現道課題の解消を図る案



【B案】現道改良ルート

現道の４車線拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案



詳細は左記をご参照ください。